

東北地方 1か月予報

(6月16日から7月15日までの天候見通し)

平成24年6月15日
仙台管区気象台発表

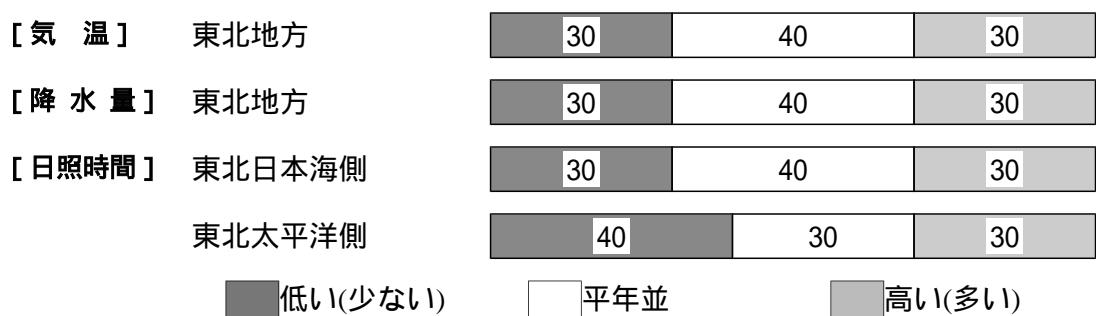
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

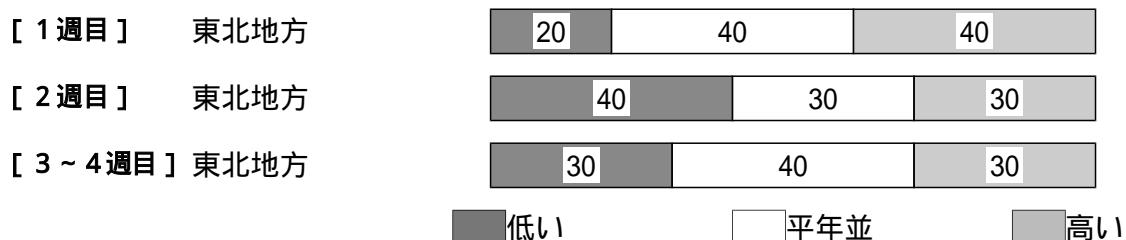
平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

週別の気温は、1週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 6月16日(土) ~ 7月15日(日)

1週目 : 6月16日(土) ~ 6月22日(金)

2週目 : 6月23日(土) ~ 6月29日(金)

3~4週目 : 6月30日(土) ~ 7月13日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は6月22日

3か月予報: 6月25日(月) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	19.0	99.0	158.7	17.6	18.5	19.7
深浦	19.2	127.8	157.3	17.8	18.7	19.9
むつ	17.4	134.2	136.0	16.0	16.9	18.1
八戸	17.9	139.6	145.4	16.6	17.4	18.6
秋田	20.9	182.5	145.9	19.7	20.4	21.5
盛岡	19.9	168.8	126.1	18.8	19.3	20.5
大船渡	19.0	212.6	123.7	17.8	18.5	19.7
宮古	17.7	155.6	125.0	16.4	17.1	18.4
仙台	20.1	189.7	107.8	18.8	19.5	20.8
石巻	19.4	152.3	125.2	18.1	18.8	20.0
山形	21.4	157.6	125.6	20.2	20.8	22.0
新庄	20.5	188.3	120.8	19.3	20.0	21.1
酒田	21.2	194.3	144.4	20.0	20.7	21.9
福島	21.6	173.4	109.4	20.4	21.0	22.3
若松	21.6	174.6	132.3	20.5	21.0	22.3
白河	20.2	210.9	105.1	18.9	19.6	21.0
小名浜	20.1	175.6	122.8	18.7	19.5	20.8

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1981~2010年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5 ~ +0.5	91 ~ 114	90 ~ 105
東北日本海側	-0.4 ~ +0.5	89 ~ 114	90 ~ 105
東北太平洋側	-0.5 ~ +0.5	86 ~ 112	88 ~ 107

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7 ~ +0.7	-0.7 ~ +0.8	-0.5 ~ +0.7
東北日本海側	-0.7 ~ +0.8	-0.7 ~ +0.8	-0.4 ~ +0.6
東北太平洋側	-0.7 ~ +0.8	-0.8 ~ +0.9	-0.6 ~ +0.8

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981~2010年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成24年6月15日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月（6月16日～7月15日）：

梅雨前線や低気圧の影響で、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

1週目（6月16日～6月22日）：

前線や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。

気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

2週目（6月23日～6月29日）：

オホーツク海高気圧が出現する見込みです。東北日本海側では、高気圧と低気圧の影響を交互に受け、天気は数日の周期で変わるでしょう。東北太平洋側では、東よりの湿った気流の影響で平年と同様に曇りや雨の日が多く、低温となる可能性があります。

気温は、各階級の確率の偏りは小さい。

3～4週目（6月30日～7月13日）：

梅雨前線や低気圧の影響で、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

気温は、各階級の確率の偏りは小さい。

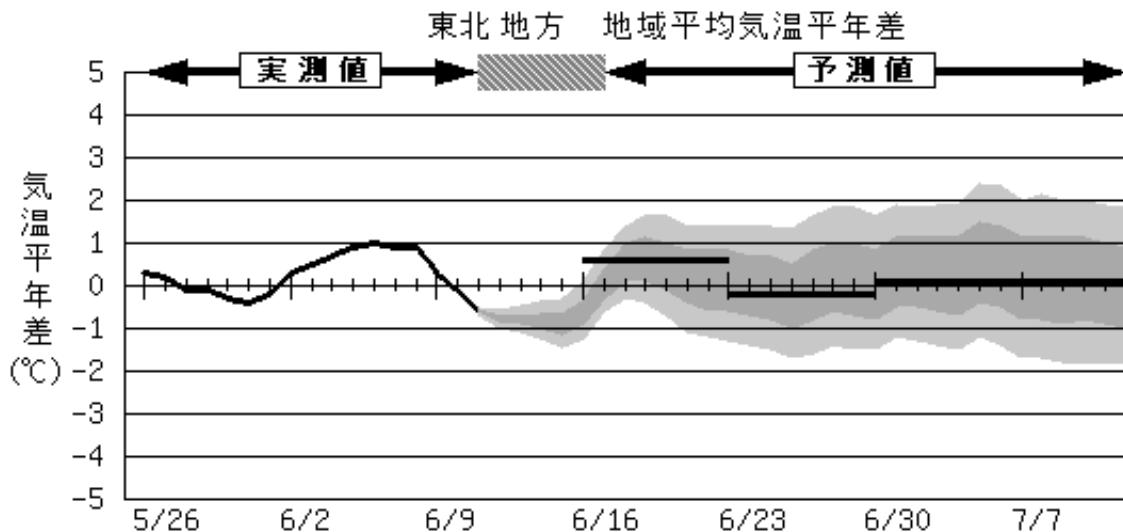
主な気象官署の、向こう4週間の平年の天気出現日数（日）

青森	秋田	盛岡	仙台	山形	福島
晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
12.1	8.3	11.3	11.1	9.9	11.0
8.2	12.7	9.4	11.6	8.1	12.3

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目は平年を上回り、2週目、3～4週目は平年付近の予想となっている。



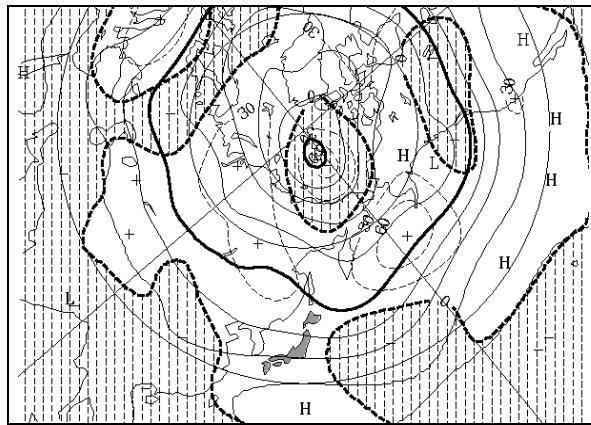
- グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- 予測期間には7日間平均気温の予想に対する信頼の程度が40%の幅(濃い陰影の範囲)と、信頼の程度が70%の幅(濃い陰影と薄い陰影の範囲)を表示。
- 水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3～4週目の平均を表す。
- ハッシュの期間は、発表日の観測値が確定していないため、観測値と予測値に基づいて結んでいる。

3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均: 偏西風の蛇行がやや大きく、華中付近は負偏差、日本付近は正偏差、日本の東は負偏差となる。本州付近は西から西南西の流れとなり、南から暖かく湿った気流が入りやすいが、2週目を中心に寒気の影響を受ける可能性がある。

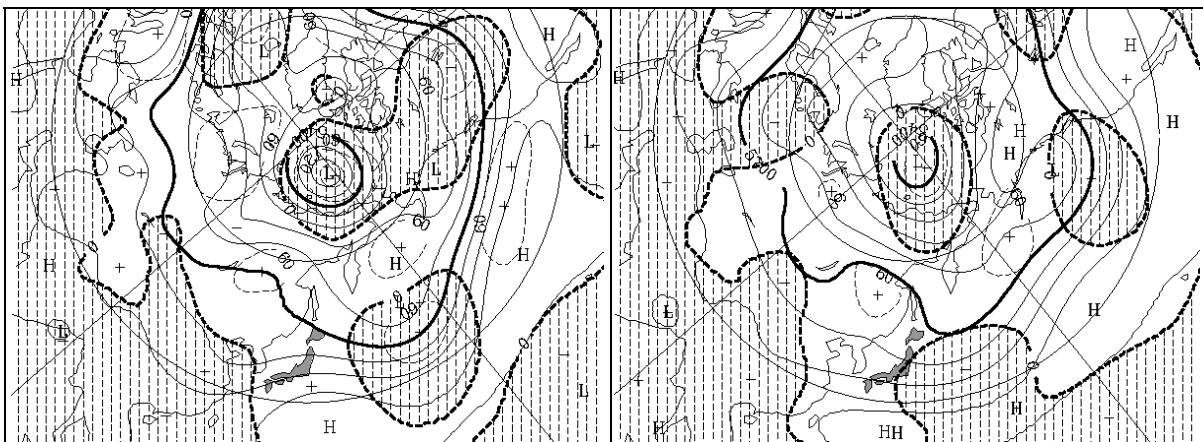
1週目: 華中付近では気圧の谷が深まり負偏差となる一方、日本の南で太平洋高気圧が強まり日本付近は正偏差となる。日本付近には南から暖かく湿った気流が入りやすい。東北地方は高温傾向で、梅雨前線の影響を受けやすい。

2週目: 日本の南の太平洋高気圧は1週目より弱まる。日本の東の気圧の谷が深まり、西北西の流れになる。また、東北地方はオホーツク海高気圧の影響を受ける可能性がある。



1か月平均 500hPa 予想天気図

図の見方は1, 2週目と同じ。ただし偏差の間隔は30m。

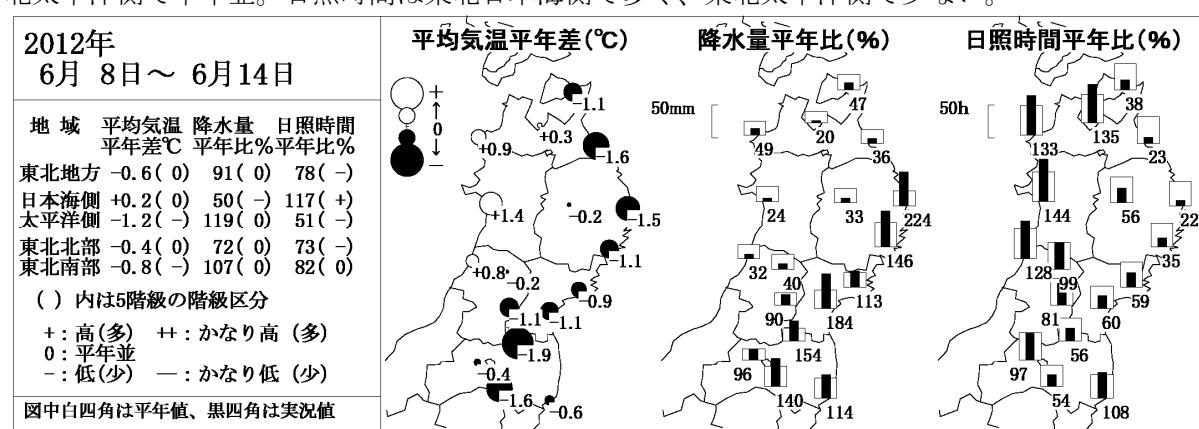


実線は等高度線（間隔 60m）、点線は偏差（間隔 60m）。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

4. 最近1週間（6月8日～6月14日）の天候の経過

この期間、東北日本海側は高気圧におおわれて晴れの日が多く、東北太平洋側は低気圧や北高型の気圧配置による湿った東よりの風の影響で曇りや雨の日が多かった。8日は、晴れて気温が上昇したため大気の状態が不安定となり、福島県で大雨となったところがあった。9日から10日にかけては、低気圧が本州の南岸と日本海から日本の東に進み、岩手県、宮城県、福島県で大雨となった。

平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で低い。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）